

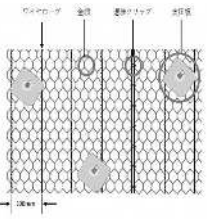
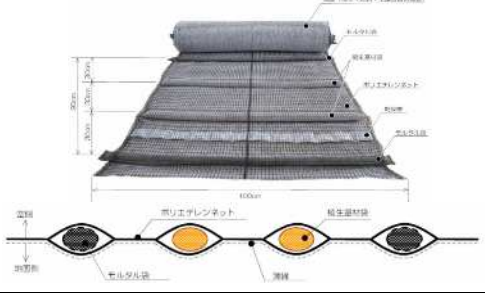

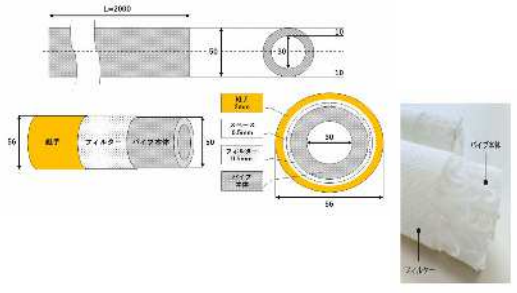
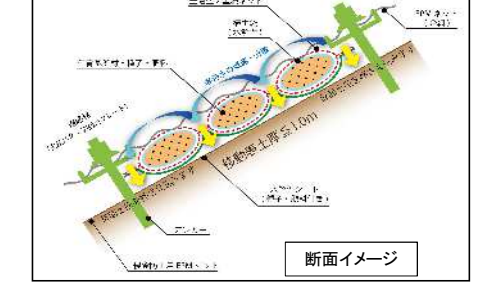
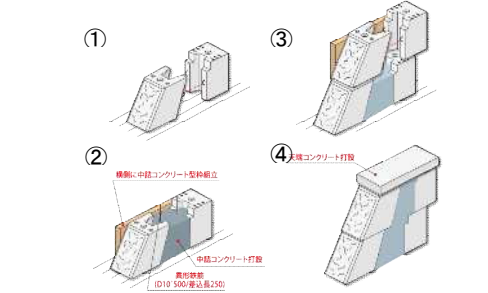



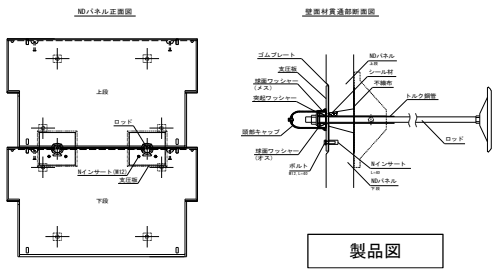



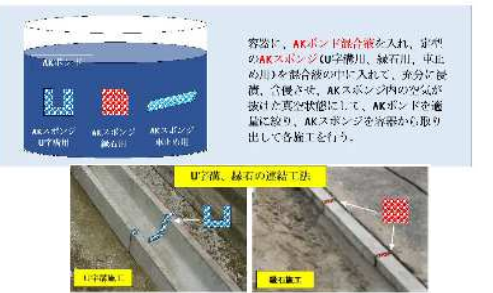
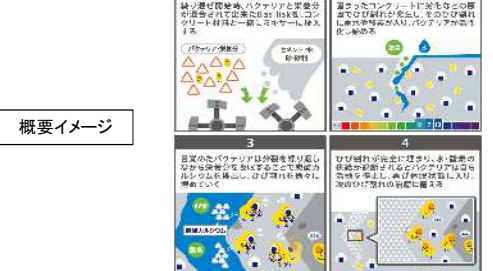
2. 申請情報

分類1	分類2	NO	登録NO	概要図	新技術の概要
			新技術の名称 申請者名		
土工	掘削工	1	2302001A	<p>概要</p>  <p>概要</p>	<p>本技術は、主に車両系建設機械に取付けたカメラで撮像された映像をAIにてリアルタイム解析し、人物が映った際に信号を発信して、機械の自動停止、警報の発報を行うシステムであり、安全性の向上が図れる。</p>
			<p>新規登録</p> <p>カメラ式人検知システム「HADES」</p> <p>ニシオティーアンドエム(株)九州支店 福岡営業所</p>		
共通工	路面工	2	2001007A	<p>完成写真</p>  <p>製品仕様</p> 	<p>斜面表層部の不安定層を、ワイヤロープを編み込んだ高強度ネット、補強材及び支圧板で固定することで斜面を安定化させる技術である。従来は、吹付砕工で対応していた。本技術の活用によりコスト縮減および施工性の向上が期待できる。</p>
			<p>マクロネットHR工法</p> <p>(株)プロテックエンジニアリング 九州支店</p>		
		3	2001008A		<p>キョウジンガー工は、ドライモルタルを充填した袋を装着した緑化基礎工付植生工です。人力のみで施工が可能であり、のり面の凹凸に馴染ませた状態で設置されたモルタル袋は、その後降雨などの水分で固化し緑化基礎工となり、生育基盤の安定化・改善などの効果を発揮します。</p>
			<p>キョウジンガー工</p> <p>九州日植(株)</p>		
		4	2102010A	<p>草木が育つ仕組み</p> 	<p>従来工法では、施工後の飛来種子(雑草、木)の繁茂による視界不良が原因となり、草刈コストが増大していた。本技術は、酸性の強い土壌(pH3.5~4.0程度)を構築することにより、酸性土壌に強い、日本古来種である野芝のみを定着させ、飛来種子の繁茂を抑制し、草刈コストを低減するものである。</p>
			<p>BJT工法</p> <p>(有)エコ・プロ 福岡営業所</p>		
5	ウォーターロードパイプ	2201001A		<p>本製品は集水能力が優れているため、地滑り地塊の間隙水圧を速やかに低下させることができ、酸化鉄細菌・藻類の発生を制御できるので孔内閉塞による排水能力の低下を防止でき、樹脂繊維ポラス構造なので地形変化への追従性にも優れている集排水管です。</p>	
		<p>株式会社 スティールド</p>			
6	EPM	2301001A	 <p>断面イメージ</p>	<p>本技術は斜面の侵食防止や厚さ1.0m以下の表層土砂の流出を継続的に抑制する技術である。従来は吹付砕工+植生基材吹付工、吹付砕工+砕内吹付で対応していたが、本技術を活用することで、吹付砕にて使用する吹付プラントの設置が不要となり、狭隘な場所や山岳地などでの施工が可能となる。</p>	
		<p>株式会社トーエス 福岡支店</p>			



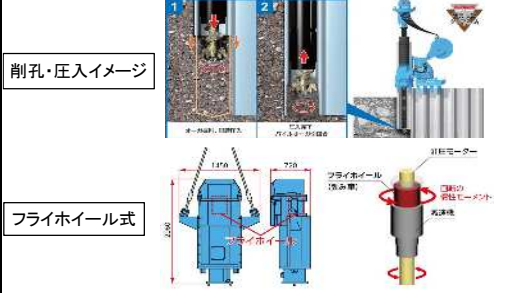
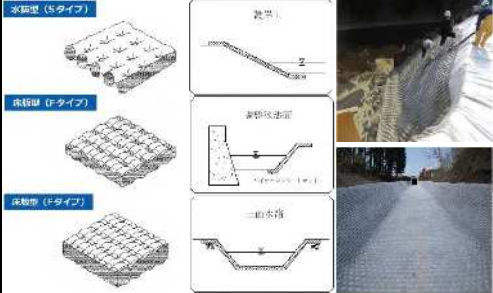

2. 申請情報

分類1	分類2	NO	登録NO	概要図	新技術の概要																											
			新技術の名称																													
			申請者名																													
共通工	擁壁工	7	1901004A	 <p>基本型A 1500*750*500(mm)</p>	<p>本製品は、積ブロック(間知ブロック)に比べて、単体が1.125㎡と大型で控長35～50cmまで可能な大型積ブロック製品です。施工時は胴込コンクリートの打設が不要であり、差筋で製品が自立するので作業効率の向上、工期短縮が図れる製品である。</p>																											
			BIブロック																													
			(株)三州コンクリート工業 福岡支店																													
		8	1901005A		<p>ブロック積工に使用するコンクリート板の埋設式裏型枠である。裏込コンクリートの設計厚さに合わせて簡単に設置・施工でき、作業員不足の中、作業工程を短縮できる。また、埋設式のため裏込コンクリート量の削減及び環境負荷低減を図ることができる。</p>																											
			コンクリート裏型枠「クリップ工法」																													
		中里産業(株)																														
		9	1902001A		<p>本製品は、プレキャスト製のブロックを前後に並べ側面に型枠を設置し、中詰めコンクリートを充填することで小口止め工が構築できる。又、1段の高さを50cmに設定しているため、ブロック積とほぼ同時に施工することができ、従来の先行して行う現場打小口止め工より安全性が向上する。</p>																											
			小口エース																													
			(株)ネオコンクリート																													
		10	2002004A	 <table border="1" data-bbox="494 1344 798 1433"> <thead> <tr> <th>寸法</th> <th>種類</th> <th>高さ (mm)</th> <th>幅 (mm)</th> <th>重量 (kg)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">下段ブロック</td> <td>L型</td> <td>500</td> <td>2000</td> <td>750</td> <td>1540</td> </tr> <tr> <td>標準型</td> <td>300</td> <td>1500</td> <td>1500</td> <td>1500</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">標準ブロック</td> <td>3分型</td> <td>500</td> <td>1000</td> <td>750</td> <td>850</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>2000</td> <td></td> <td>1540</td> </tr> </tbody> </table>	寸法	種類	高さ (mm)	幅 (mm)	重量 (kg)	下段ブロック	L型	500	2000	750	1540	標準型	300	1500	1500	1500	標準ブロック	3分型	500	1000	750	850			2000		1540	<p>従来は、土砂流出防止の応急対策として大型土のうを利用していたが、素材が繊維のため、繰り返し利用や経年劣化により製品の破損が多発していた。本製品は、コンクリート製のため、繰り返しの利用や経年劣化による破損が無い製品である。</p>
			寸法		種類	高さ (mm)	幅 (mm)	重量 (kg)																								
			下段ブロック		L型	500	2000	750	1540																							
標準型	300	1500		1500	1500																											
標準ブロック	3分型	500	1000	750	850																											
			2000		1540																											
災害応急対策用ブロックレスキューブロック																																
一般社団法人RB研究会																																
11	2002009A	 <p>表面パネルと背面パネルを結ぶ鉄筋を溶接。</p> <p>生コンの打設時の様子。</p>	<p>従来のプレキャスト大型ブロックと比べ、Pca部材を軽量化してクレーンを必要とせず狭隘な場所で施工が可能であり、R施工及び縦断勾配が目立つ箇所での施工時に現場打ち用の型枠を必要としない事及びブロック控え長と表面の勾配は最適な断面形状に設定できる点において優れている。</p>																													
	M1ウォール工法																															
	ヒロセ補強土(株)九州沖縄営業部																															
12	2202001A	 <p>モルダム注入完了断面</p> <p>県道福土吉富線(京築県土整備)</p>	<p>本技術(モルダム工法)は、既設石(ブロック)積み擁壁の補修・補強に関する技術である。劣化した既設の石積みに特殊充填剤を注入する事で高強度、高接着力により長寿命化を図る事ができる。又、排水材料の改良で排水機能を向上させ背面土圧の軽減を図れる。</p>																													
	石積接着補強工法(モルダム工法)																															
	九州防災メンテナンス株式会社																															

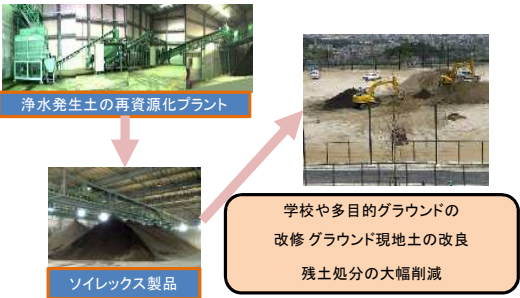


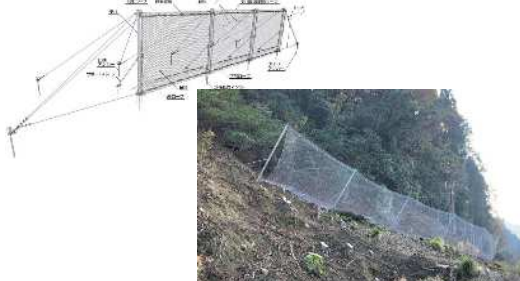
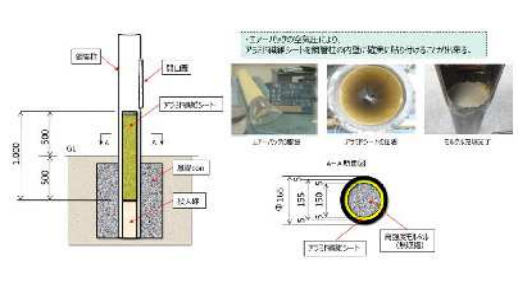

2. 申請情報

分類1	分類2	NO	登録NO	概要図	新技術の概要
			新技術の名称 申請者名		
共通工	擁壁工	13	2301002A		<p>本技術は、補強材を前面に突出させるための多数アンカー式補強土壁用の壁面材及び連結部材であり、従来は壁面材の背面で補強材を連結していた。本技術の活用により補強材の非破壊検査による診断が可能となり、補強土壁の安全性向上及び診断時の作業安全性や施工性の向上が図れる。</p>
			NDパネル		
			岡三リビング株式会社九州支店		
	排水構造物工	14	1901006A		<p>側溝天端に縁石を設置する構造にすることで、側溝のエプロン部を狭くし、自転車の車輪が側溝天端を走行することなく、アスファルト上を走行でき、安全で快適な自転車走行空間を実現した。また、側溝と縁石を分離構造とすることで、縁石の施工及び取替えを容易とした。</p>
			自転車対応ブロックベース側溝		
			中里産業(株)		
	排水構造物工	15	1901007A		<p>自転車通行帯や道路幅員確保を必要とする箇所に適した管渠型側溝である。従来製品の天端勾配6%に対し、1.5%と車道勾配とほぼ同一勾配とすることで自転車走行の安心、安全を実現できる。又、走行中の車輪が側溝で滑らないようペダル幅を考慮し天端を狭小幅としている。</p>
			サイクルレーン側溝		
			インフラテック(株)		
	軟弱地盤処理工	16	2101001A		<p>TPマットレス工法は、軟弱な基礎地盤の表層もしくは基層部に、高強度ポリエステル織布と良質な中詰材を用いて、立体的かつ盤状に組立てた構造体を設置することで、上載構造物の荷重分散および、せん断抵抗を発揮させ、基礎地盤を補強する工法である。</p>
			TPマットレス工法		
	モルタル工	17	2102003A		<p>真空スポンジ接着工法は、専用2液性樹脂接着剤を特殊ウレタンスポンジに吸収させ、気泡を無くした真空の状態です。U字溝、縁石などのコンクリート製品を設置、連結させる新しい施工の接着工法です。</p>
			真空スポンジ接着工法		
			一般社団法人真空スポンジ接着工法組合		
コンクリート工	18	2302002A		<p>本技術は、バクテリアと栄養分が混合されてきたBasiliskを生コンクリート製造時に混入するものである。固まったコンクリートにクラックが発生し、侵入した水と触れると、バクテリアが活動して炭酸カルシウムを生成して修復し、ひび割れの進行や増大、ひいては構造物の劣化サイクルを止めることができる。</p>	
		新規登録			
		Basilisk HA 自己治癒コンクリート			
			株式会社 柏木興産		



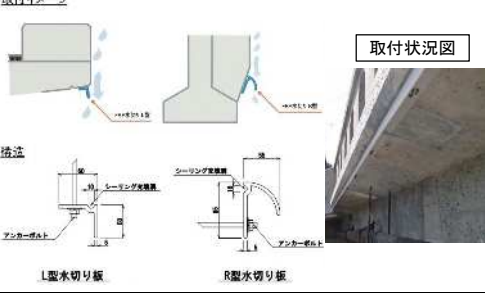
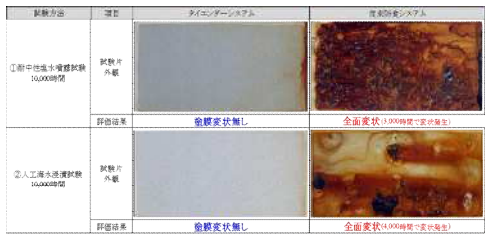
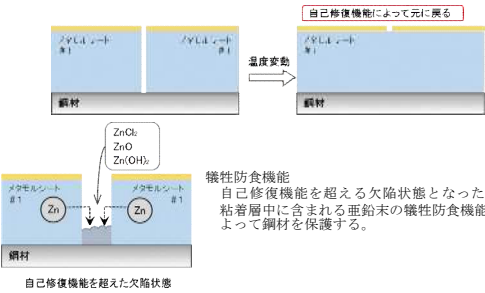

2. 申請情報

分類1	分類2	NO	登録NO	概要図	新技術の概要
			新技術の名称 申請者名		
コンクリート工	コンクリート打設	19	2302003A 新規登録 ゴムクローラ式 コンクリートミキサー車「NTMシリーズ」		不整地路面の生コン運搬で従来はコンクリート圧送設備を使用していたが、本技術のゴムクローラ式コンクリートミキサー車を使用することにより、経済性と施工性の向上、工程の短縮が期待できる。
			ニシオティーアンドエム(株)九州支店 福岡営業所		
仮設工	仮設材設置撤去工	20	2202003A アジャスタブル腹起し (長さ調節機構付きアルミ製長尺腹起し)		開削工事に於ける仮設土留材機材で、アルミ製の嵌合構造で構成している腹起しで、4.5～8.0mまで0.25mピッチでの伸縮が自由に可能。現場で容易に寸法調節が可能な腹起し製品の技術である。
			日本スピードショア株式会社 福岡営業所		
	足場支保工	21	2302004A 新規登録 パネル式ユニットシステム吊り足場 TOBISLIDE (トビスライド)		本技術は、鋼橋や高架橋の仮設工事に適用するパネル式ユニットシステム吊り足場である。仮設工の作業時間を合理化し、施工の安全性を向上する技術であり、従来はパイプ吊り足場・防護工で対応していたが、本技術の活用により安全な施工と経済性の向上が期待できる。
株式会社 三共 福岡センター					
仮設工	矢板工	22	2302005A 新規登録 硬質地盤クリア工法(フライホイール式パイルオーガ)		本技術は、フライホイール機構搭載オーガを用いて硬質地盤に鋼矢板を圧入する工法であり、従来は先行掘削砂置換+パイロハンマ工法で対応していた。本技術の活用により、玉石層や硬岩Iなどの超硬質地盤でも効率的に削孔と圧入を同時に行うことができ、工期短縮が図れる。
			株式会社技研製作所 九州営業所		
河川海岸	多自然型護岸工	23	2102002A 布製型枠「バイオコンクリートマット」		本技術は、コンクリートブロック張工に関する技術である。「バイオコンクリートマット」は、布製型枠を施工箇所に敷設し、コンクリートやモルタルを注入する工法で、本技術の活用により施工性が向上し、工程短縮や経済性の向上が期待できる。
			大嘉産業(株)		
舗装工	アスファルト舗装工	24	2002006A 道路のひび割れ抑制シート「グラスグリッド」		従来技術に比べ、引張強度UPによりリフレクションクラック抑制効果が向上する。従来工法では、専用プライマー等副資材を要していたが、本製品は副資材が不要なため施工手間が軽減する。従来技術では敷設ができなかった、路盤の直上にも敷設ができる。
			(株)アークノハラ 営業本部 中・西日本ブロック 福岡事務所		

2. 申請情報

分類1	分類2	NO	登録NO		概要図	新技術の概要			
			新技術の名称	申請者名					
舗装工	特殊舗装工	25	2002007A	ソイレックス・リサイクル・システム 工法	 <p>浄水発生土の再資源化プラント</p> <p>ソイレックス製品</p> <p>学校や多目的グラウンドの改修 グラウンド現地土の改良 残土処分的大幅削減</p>	従来技術は、降雨後の泥濘（ぬかるみ）が発生しやすく、排水を確保するため、中層、下層及び暗渠排水が必要ですが、本工法は舗装の耐水性を向上させ、中層、下層の施工が不要となります。（但し、雨水の排水設備までの移動距離が長い場合及び湧水など状況により、中層・下層を設ける必要があります）			
			2002008A				ゲリラ豪雨対策 雨水貯留型 改良土工法 (SLX-T工法)	 <p>SLX-T工法</p> <p>雨水貯留施設として、野積時のぬかるみ、放流時の土の流失、目詰まりを最小限に抑えることは、施設の防災機能を長期活用する上で重要なポイントになります。豪雨時は、雨水貯留施設として地場の治水防災対策に貢献できる一方、放流後はみどり施設等本来の施設機能を速やかに取り戻すことを可能とする舗装工法が都市型（施設兼用型）治水事業に求められます。</p> <p>このような不安や課題を解決できるのはSLX-T工法です！</p> <p>豪雨時・・・雨水貯留施設の機能を安定的に維持 放流後・・・スポーツ施設としての機能復旧が速やかに実現可能</p> <p>SLX-T工法は、舗装の断面表層土に主成分材料 SLX-T を用いて改良し、雨水貯留施設としての雨水貯留機能を併用可能な舗装工法です。</p> <p>従来の改良土工法 雨時の土の流出</p> <p>雨時の土の流出抑制</p>	従来は、雨水の貯留により舗装面の膨潤崩壊、放流時の土の流出が起こるといった問題があったが、本技術では、SLX-Tでの改良により耐水性を向上させ、放流時の土流出を抑え、舗装面の機能を速やかに回復する事が可能となる。
			(株)ハイクレール九州支店						
	防護柵設置工	27	2202004A	ライトバリア		ライトバリアは、最大100kJクラスの落石を捕捉できる、細径でありながらエネルギー吸収が可能な高靱性支柱を用いた、自立支柱式の落石防護柵。軽量かつシンプルな部材で構成され、擁壁基礎のほか、軽量ボーリングマシンを用いた杭基礎による施工ができる。			
			ベルテクス株式会社 福岡事務所						
		28	2202005A	ロックバリア		ロックバリアは、最大500kJクラスの落石を捕捉できる、ワイヤロープ支持式の高エネルギー吸収型落石防護柵。人力施工による自穿孔式アンカーが可能で、分離構造の支柱と金網、ワイヤロープを組み合わせることで、軽量シンプルな部材により人力施工が可能。			
付属施設	道路付属物工	29	2302006A	新規登録 FRPシップ工法		本技術は照明柱等の腐食鋼管の支柱内部を高強度繊維シートとモルタルにより、補修・補強する技術であり、経年劣化した既設照明柱等の強度を修復させる補強工法である。掘削作業を伴わないため工期の短縮が図れ、更に腐食部を新品同等以上の強度に修復できるため、施設の長寿命化によりライフサイクルコストの低減が図れる。			
			株式会社 トッププランニングJAPAN 博多営業所						
—	—	30	2002005A	マンガ安全カード	 <p>事故・災害防止(工事現場の安全対策)</p>	従来は、看板・ポスターなどで掲示していたが、見える場所が限られていた。カードをポケットなどに携帯する、周りの人からも常に見えるヘルメットや道具、デスクやクリアファイルなど様々な箇所にシールを貼付するなどして、常に見えるようにすること（配布も容易）で、さらなる安全意識の向上を図ることができる。			
			(株)マサト						

2. 申請情報

分類1	分類2	NO	登録NO	概要図	新技術の概要
			新技術の名称 申請者名		
付属施設	—	31	2202002A		AR×マンガ技術を用いた労働災害防止のための新技術。作業手順書内に埋め込まれたARマーカを読み込むことで、スマートフォン越しに“過去の事故事例”を再現したARマンガを視聴することが可能。また同時にARマンガを観た作業員の履歴管理も行える。
			KYデジタル		
			株式会社シンフィールド 福岡支社		
道路維持修繕工	道路付属物塗替工	32	2201002A		本技術は対象物に厚み2～3mmのエポキシ樹脂を含ませた高強力不織布を貼り付けるため、対象物の水・空気との接触を遮る他、錆除去等のケレン作業で削れて減った肉厚を補填し、強度維持を行える。また、微振動や温度変化による膨張・収縮にも追従するため、割れや剥がれが起きにくい。
			NEAc工法 「高強力不織布・樹脂含浸・柱脚防食工法」		
			小泉製麻株式会社 福岡事業所		
	橋梁補修補強工	33	2001006A		旧規格の地覆や壁高欄は、天端に横断勾配が設けられておらず、雨水が側面を流れ、床版底面の水切部に達します。「FRP水切り板」は、地覆天端からの雨水流下を制限し、側面や水切り部からの浸水を抑制することで、橋梁の長寿命化に貢献いたします。
			橋梁用FRP水切り板		
			(株)ダイクレ 九州支店		
	橋梁補修補強工	34	2101002A		鋼構造物の塗装において、従来技術では塩害環境で使用した場合、塩分などの腐食因子を遮断できず、早期の不具合が生じていたが、新技術は遮断性に優れる下塗塗料を仕様しているため塩害環境でも長期にわたり塗膜下鋼材の腐食を抑制する。
			タイエンダーシステム		
			大日本塗料(株) 福岡営業所		
	橋梁補修補強工	35	2101003A		鋼構造物において、従来の塗料による部分塗替えには4～6日の施工日数が必要だが、本工法は、貼るだけの1工程で施工が完了する。国内初の亜鉛末配合による犠牲防食機能をもったシートのため、防食下地(ジンクリッチペイント)を有する塗装系(Rc-I)相当の性能をもつ。
			メタモルシート#1		
			大日本塗料(株) 福岡営業所		
橋梁補修補強工	36	2101004A		e-ジェクターは、コンクリート構造物のひび割れに注入材を自動的に、かつ低圧で連続的に注入することができる内蔵パネ加圧式を採用した小型注入容器(シリンダー)である。e-ジェクターの加圧パネは(0.1N)弱(0.04N)の2種類あり、現場環境、注入材により選択が可能。	
		自動式低圧樹脂注入容器 「e-ジェクター」			
		小泉製麻(株) 福岡事業所			

2. 申請情報

分類1	分類2	NO	登録NO 新技術の名称 申請者名	概要図	新技術の概要
道路維持修繕工	橋梁補修補強工	37	2301003A	<p>①アルカリ躯体 (高アルカリ配合)</p> <p>②特殊防錆剤</p> <p>③特殊変性合成樹脂 エマルジョン</p> <p>アルカリ耐食性</p> <p>自己修復機能</p> <p>付着強度</p> <p>鉄鋼製の副産物である 水熱スラグを利用した 高アルカリ含有。 塗膜中にアルカリを閉じ込 めることで錆にくくなる。</p> <p>鋼材の高強さの新しい 亜硝酸塩での適用技術を 確立している。</p> <p>アルカリ躯体と防錆剤の バインダーとして採用。 特に亜硝酸塩を配合させる 技術を持つている。</p> <p>技術の概要</p>	水系かつ高アルカリ性の下塗塗料を使用した工法であり、アルカリ防食と亜硝酸塩を組み合わせることで鋼材面を不働態化し、塗膜に損傷を受けても、自己修復機能により腐食を抑制できる。高度な下地処理も不要なためコスト削減も可能な工法である。
			スラググリードSR工法		
			ダイキ工業株式会社		
		38	2301004A	<p>SR-F工法</p> <p>(1)下塗:スラググリードSR-F塗膜</p> <p>(2)中塗①:スラググリードSR-F塗膜</p> <p>鉄筋と鋼材</p> <p>鋼筋コンクリートへの付着</p> <p>(3)中塗②:スラググリードSR-F</p> <p>断面イメージ</p> <p>施工事例</p>	コンクリート構造物中の鉄筋防錆剤として有効な亜硝酸塩を含有した浸透剤と厚付け塗料を、露筋部およびその周辺部に塗布することで、延命化する。鉄筋部を被覆する程度に施工し、断面を埋め戻さないため、剥落のリスクが低減できる。(埋め戻しを不要とすることが設計上問題ない場合に有効である)
			スラググリードSR-F工法		
			ダイキ工業株式会社		
	39	2302007A	<p>概要イメージ</p> <p>クリーンレーザーシステムの原理 Principle of Clean Laser System</p> <p>レーザー光線が塗膜・錆に照射されると、瞬間的に除去され、酸化(昇華)された旧塗膜は同時にバキュームにて吸引され、フィルターを介して処理される工法である。これにより、騒音の低減など、品質、施工性および作業環境の改善が図れる。</p>	本技術は、高出力のレーザー光線を金属素材表面の有機性対象に照射すると、旧塗膜・鉄サビ部分が瞬時に除去し、酸化(昇華)された旧塗膜は同時にバキュームにて吸引され、フィルターを介して処理される工法である。これにより、騒音の低減など、品質、施工性および作業環境の改善が図れる。	
		新規登録 非接触の塗膜除去工法「クリーンレーザー工法」			
		ニテハツ工業株式会社			
	40	2302008A	<p>塗装写真例</p> <p>赤錆</p> <p>黒錆</p> <p>サビ転換</p>	本技術は、浮きサビ(層状/こぶ状サビ)のみ除去、残置の膜厚250μm以下の赤錆を安定な黒錆に錆転換・不動態被膜化して、従来工法Rc-1塗装系(素地調整/下塗塗膜)の塩水噴霧試験が1000時間未満のところ、5000時間超の強靱な防錆力を発揮する下塗塗膜を形成する工法である。	
		新規登録 セレクトコートさび鉄構造物リニューアル工法			
		アルファペイント株式会社福岡営業所			
横断歩道橋補修工	41	2001003A	<p>セラミック金属補修特殊パテ/ラススタッフ(E)1100シリーズ</p> <p>下塗り (kg/m² × 回) OO塗装 (OO***相当品)</p> <p>中塗り (kg/m² × 回) OO塗装 (OO***相当品)</p> <p>上塗り (kg/m² × 回) OO塗装 (OO***相当品)</p> <p>鉄素地</p> <p>セラミック金属補修特殊パテ(E)材 (5kg/7(E)1100相当品)</p> <p>素地調整 (2種ケレン以上)</p> <p>プラスチック系基材 (専用メッシュテープ) 孔径の大きな箇所</p> <p>ラススタッフ(E)施工状況</p> <p>施工完了</p>	本製品は、高緻密な錆止めエポキシ樹脂をベースとしており、高耐腐食性を実現しています。また、従来技術に使用する不陸調整パテ材より付着・接着性能が約3倍あり、結露した金属面(工事中の鉄面に湿り気があっても)施工可能なため、施工不良がおきづらい。パテ補修後は直接塗装ができ、シート貼付け工程自体が不要なため、スピード補修が可能となります。	
		(株)アクセス福岡営業所			
		1901008A		<p>施工前(従来工法)</p> <p>施工後(新工法)</p>	本技術は、ボックスカルバート内側の目地からの漏水対策に使用される樋設置工法の代替として使用する技術である。従来の課題であった天井からの樋突出部分と通行車輛上部との接触による施工部の破損が低減出来ることに加え、シートを貼付するだけの工法の為、大幅な工期短縮が可能となる。
パッチシールクロスによる漏水対策工法					
信越化学工業(株)福岡支店					

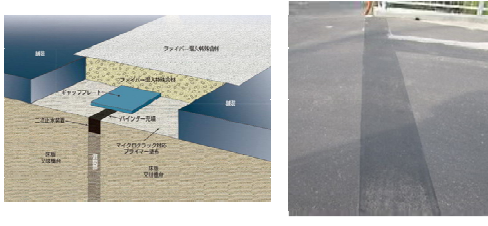
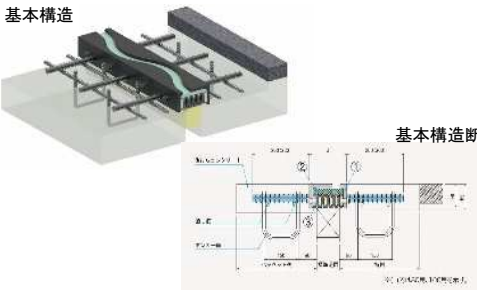

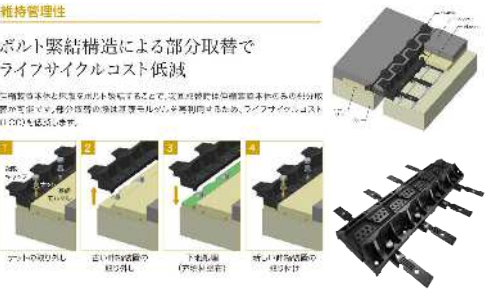
2. 申請情報

分類1	分類2	NO	登録NO 新技術の名称 申請者名	概要図	新技術の概要
道路維持修繕工	道路除草工	43	2001001A シートと固まる土のハイブリッド防草工法「かまださんのコロブスのたまご」 (株)ワイ・ビー・ケイ 工業福岡営業所		防草シートの耐久性を向上させるため防草土とシートの二重構造を現場施工により一体化することでシートの劣化を解消したハイブリッド防草工法である。従来技術と比べて、夏場の炎天下で重労働とされる草刈りからの解放、維持管理経費が削減される他、景観の保持、不法投棄やゴミの削減、交通の視認性向上など快適な住環境が持続する。
		44	2001004A つるガード工法 (株)白崎コーポレーション九州営業所		本技術は、つる性雑草類による法面への登攀や転落防止柵等への絡みつきを長期間防止する工法で、従来は機械除草(肩掛け式)で対応していた。本技術の活用により、道路除草手間の削減や視界不良・景観阻害などの問題が解消できるため、品質および安全性の向上が図れる。
		45	2001005A つる性強壯雑草(葛)登攀防止ネット「パリオスネット」 小泉製麻(株) 福岡事業所		2×4mmまたは2×2mm目合いのポリエチレンネットを、立入防護柵等に結束バンド等で固定して設置することで、主にマメ科クズ属の多年草の巻ツル性植物である葛(くず)の登攀を抑制する製品。
	46	2102004A 防草型路肩張りブロック 中里産業(株)		アスファルト舗装と製品を噛み合せ構造とした防草型路肩張りブロックを施工する事により、雑草の繁殖抑制が期待できる。また法勾配に応じて自由に対応できる。	
		47	2301005A 竹(タケノコ)に特化した生長抑制工法「たけガード工法」 株式会社 白崎コーポレーション九州営業所		本技術は、防草工に関する技術である。道路等の竹除去作業において、特殊シートと専用ピンで竹の生長を抑制する工法で、従来は、肩掛け式草刈機とチェーンソーの伐竹で対応していた。本技術の活用により、以降の伐竹作業が不要となり、長期管理コストを削減できる。
	トンネル補修補強工	48	2102005A トンネル小片はく落対策工「FF-TCC工法」 前田工織(株) 福岡支店		従来技術はトンネル壁面のコンクリートのはく落が発生する恐れがある箇所に対する補修であり、予防・防止に対応できていないという課題があったが、本技術の活用により、はく落塊への追従性が高く、透明樹脂により変状確認がし易いため、安全性および施工性の向上が図れる。

2. 申請情報

分類1	分類2	NO	登録NO	概要図	新技術の概要
			新技術の名称 申請者名		
道路維持修繕工	トンネル補修補強工	49	2102006A		<p>ハードメッシュは、FRP格子筋とガラスメッシュを一体化させたトンネル薄片はく落対策工対応用のメッシュ材です。トンネル覆工コンクリートの表面に固定させることで、より小さなコンクリート片の落下を防止します。FRP格子筋が炭素繊維製グリッドであるため、薄くても高剛性、高耐力を有しています。</p>
			トンネルはく落対策工「ハードメッシュ」		
			前田工織(株) 福岡支店		
共同溝工	-	50	2101005A		<p>従来技術のピン式シリンダー錠は、泥水や砂が浸入することにより、作動不良や機能障害が生じやすいという欠点がある。ピン式シリンダー錠はコイルバネやピンを内部に有するものであるため、路面のような悪条件下では故障が生じ易い。泥水や砂が錠孔に浸入する可能性が高い屋外において使用可能で作動不良や機能障害が生じ難いディスクシリンダー錠である。</p>
			サイドパー式ディスクシリンダー錠		
			タキゲン製造(株) 福岡支店		
トンネル工 (NATM)	-	51	1901001A		<p>従来の外板に鋼板を使用したセントルは、覆工コンクリートの表面が外気温の影響を受けやすいという課題があったが、本技術は外板をFRPにすることにより、外気温の影響を受けにくくなり、覆工コンクリートの表面温度の低下が抑えられる工法である。</p>
			トンネル覆工初期養生FRP工法		
			(株)エムケーエンジニアリング 九州営業所		
		52	2302009A		<p>本技術は、トンネル工(NATM)のずり処理工で使用する、荷台の前面板に設けられた開閉装置及び車体脇視界モニタリングシステムを搭載し、通常運転用ハンドル操作盤とは別に後向き走行用のハンドル操作盤を備えた、バックの走行性を向上させる25tアーティキュレート式ダンプトラックの機械技術である。</p>
			新規登録 トンネル坑内ずり運搬用ダンプトラック		
			ニシオティーアンドエム(株)九州支店 福岡営業所		
53	2302010A		<p>本技術は、支保工キャッチャーの把持する面(掴む面)が上向きから下向きに回転するロータリーキャッチャー仕様のエレクター付コンクリート吹付機であり、支保工建込とインバート支保工設置の作業の事故リスク軽減による安全性向上と作業効率化による施工性向上が図れる。</p>		
	新規登録 ロータリーキャッチャー仕様エレクター付コンクリート吹付機				
	ニシオティーアンドエム(株)九州支店 福岡営業所				
橋梁上部工	橋梁用伸縮継手装置工	54	1901002A		<p>橋梁用伸縮継手の補修工事において、突合せジョイントなどの劣化した伸縮ゴムの部分を撤去し、新たに伸縮性に優れた樹脂材を充填する橋梁用伸縮継手補修工法で経済性・施工性の向上が期待できる。</p>
			ゴム劣化取替工法		
			山王(株) 福岡営業所		

2. 申請情報

分類1	分類2	NO	登録NO	概要図	新技術の概要
			新技術の名称		
橋梁上部工	橋梁用伸縮継手装置設置工	55	1901003A		<p>橋梁用伸縮継手の補修工事において、脆弱化したコンクリート床版クラック部を、浸透性KSプライマーで補修し、その後DS骨材とバインダーと化学繊維をミックスした特殊合材を現場にて舗設するため、伸縮性・追従性に優れた埋設ジョイントである。</p>
			MM-JOINT DS型(EQM-J工法)		
			山王(株) 福岡営業所		
		56	1902002A	<p>基本構造</p> 	<p>本製品は、橋梁用伸縮継手装置の伸縮部表面を鋼製プレートで覆っているため、従来の製品より耐久性が大幅に向上する。また、鋼製プレートを波形構造にすることで、車両走行がスムーズとなり騒音低減を実現できる。さらにゴムパッキンと弾性シール材の二重構造により止水性が高まる。</p>
			プロフジョイント CDx型		
			東京ファブリック工業(株) 福岡支店		
		57	2002002A		<p>従来技術は、止水機能の低下により伸縮装置本体は比較的健全であっても撤去取替を行っていた。本工法は、伸縮装置が健全である場合、劣化した止水材を撤去し新しい止水材(シリコンシーリング)を充填し伸縮装置の機能回復を図る工法である。</p>
			REJ工法		
			ビルドメンテック(株)		
		58	2102007A	<p>維持管理性</p> <p>ボルト緊結構造による部分取替でライフサイクルコスト低減</p> 	<p>製品は、取替性・耐久性・走行安全性に優れたダクタイル鋳鉄製伸縮装置で、ボルト緊結構造により取替時に大掛かりな後打コンクリートのやり撤去を行わずに製品のみを取り替えることができるため、施工の省力化、並びに施工コストの低減が期待できる。</p>
			ヒノダクタイトイルジョイント αCV(J)タイプ		
			日之出水道機器(株)		
59	2102008A		<p>本技術は橋梁用伸縮装置に関する技術である。省スペースでも設置可能な荷重支持型鋳鉄製ジョイントである。従来は目地材や荷重支持型ジョイント(ゴム+鋼製)で対応していた。本技術の活用により床版厚が薄い橋梁やパラペット厚が狭い橋梁への設置が可能となる。</p>		
	ヒノダクタイトイルジョイント αSCV(J)/GCVタイプ				
	日之出水道機器(株)				
橋面防水工	60	2102011A		<p>従来工法では、塗膜防水シール施工後、珪砂を散布します。しかし珪砂はピンホールの発生原因の一つになります。当工法は珪砂の代わりに強化保護シートを使用するのでピンホールができません。またシール材も低温性に優れ、抜群のひび割れ追従性を持つため防水効果が他製品より高いです。</p>	
		床板防水ウルトラシール工法			
			(有)エコ・プロ 福岡営業所		

2. 申請情報

分類1	分類2	NO	登録NO	概要図	新技術の概要
			新技術の名称 申請者名		
橋梁上部工	—	61	1901009A	<p>上部工反力・桁高の比較 (支間24mの場合)</p> <p>桁高比 上部工反力比</p> <p>JIS桁 100/100 → スーパープレテン®桁 73/82</p> <p>JIS T桁 100/100 → スーパープレテン®T桁 66/76</p> <p>※軽くて、スリムに</p> <p>※反力も100%以上の重荷の重荷に耐える</p> <p>JIS桁の桁高 600mm × 450mm (自重: 25%)</p> <p>JIS桁の桁高 800mm × 350mm (自重: 21%)</p>	<p>高強度PC鋼より線と高強度コンクリートを使用することで、従来のJIS桁と比較して、桁高を低く抑えることができる。また、主桁の軽量化により運搬・架設等の施工性が向上する。さらに、高耐久性である高強度コンクリートを使用することで、耐久性が向上し橋梁の長寿命化が図れる。</p>
			スーパープレテン®		
			(株)日本ピーエス九州支店		
	—	62	2102009A	<p>構造</p> <p>CFRPパッド</p> <p>鋼筋はCFRPの伸びと鋼筋の伸びの差を利用して、大きな引張力を発生させ、鋼筋の引張力を伝達する。</p> <p>鋼筋の引張り</p> <p>上向き力</p> <p>水平力</p> <p>円筒内面のコーティングが鋼筋とコンクリートとの密着性を向上させ、耐久性を高めます。</p>	<p>CRB-Zは、ゴム支承内部に炭素繊維強化プラスチック(CFRP)を使用し、さらに上沓と拘束リングプレートを円錐状に噛合わせることで、高面圧・コンパクト化を実現したゴム支承です。</p>
			高面圧・コンパクトゴム支承 CRB-Z		
			東京ファブリック工業(株)福岡支店		
調査試験	測量	63	2002001A	<p>WALK DRIVE UAV</p> <p>※様々なフィールドに対応可能</p>	<p>従来はトータルステーション等を用いて、対象物の位置を直接(接触)計測だが、本システムは間接的に計測でき、同一センサを3つの移動体(UAV,車,人)で運用し、高密度・高精度の3次元点群データを取得することにより、地形・構造物全体を面的に把握できる。また、定期的に3次元点群データを取得することで経年変化を量的に把握できる。</p>
			マルチレーザー計測システム TERASU		
			東亜建設技術(株)		
	地質調査	64	2301006A	<p>パイプ傾斜計の設置</p> <p>製品の概要</p>	<p>パイプ傾斜計(Dr.Clip)は、地中変位を計測する機器である。従来は挿入式孔内傾斜計での計測である。本技術の活用により、水位観測孔の掘削コストや長期観測によるランニングコストの低減が図られ、連続データを取得することによる品質の向上が期待できる。</p>
			パイプ傾斜計 (Dr.Clip)		
			明治コンサルタント株式会社九州支店		
—	65	2302011A	<p>新規登録</p> <p>拡散レーザー変位計</p> <p>離れた場所から連続観測ができる</p> <p>× 保護網が設置困難な場所(たわら)</p> <p>○ 保護網が不要 140mまでOK</p> <p>地盤傾斜計の場合</p> <p>拡散レーザー変位計の場合</p>	<p>本技術は、レーザー変位計であり、通常のレーザー光線を拡散しスポット径を広げることで、対遮蔽物性の向上と人体への影響軽減化を達成する。また、雨・雪・草葉や人・車の往来がある環境下でも安定した連続計測が可能であり、警報装置と組合せにより、工事現場の安全管理や斜面監視にも役立つ。</p>	
		明治コンサルタント株式会社九州支店			
		浮き足場工法 (ゼニフロートX)			
構造物調査	66	2001002A	<p>浮き足場工法 (ゼニフロートX)</p> <p>ゼニフロートX</p> <p>浮き足場工法</p>	<p>本技術は、ポリエチレン製の浮き足場(ゼニフロートX)を用途に合わせて組合せ、桁下高が水面から5m以内の橋梁点検・調査および補修工事等を行うものであり、従来は銅製台船等に対応していた。本技術の採用により、作業の省力化および経済性の向上が期待できる。</p>	
		ゼニヤ海洋サービス(株)九州営業所			

2. 申請情報

分類1	分類2	NO	登録NO	概要図	新技術の概要
			新技術の名称 申請者名		
調査試験	構造物調査	67	2102001A	<p>■ ロボット本体</p> <p>① 詳細図などを利用して、ワイヤを取り付けます。</p> <p>② 部材にワイヤの端部を固定し、レバーロックにより100kg程度のテンションをかけます。</p> <p>③ テンションをかけたワイヤ上にロボットを載せ、操作用ケーブルで操作します。</p> 	<p>本技術は、橋梁等構造物の高所の点検作業をワイヤ架設式の移動式ロボットによるカメラ撮影を取入れて行う技術で、従来は、高所作業車等を使用して点検作業していた。本技術の活用により、現地作業時間が短縮され省力化し、人件費が削減され経済性の向上が図れます。</p>
			ワイヤ吊下型 写真撮影式点検 ロボット		
			(株)イクシス		
施工管理	—	68	2301007A		<p>施工現場におけるリスクアセスメントから労働安全管理の実施・運用を行うシステムであり、従来は関連情報を手作業で集約、分析していた。本技術により、安全管理に必要な各種情報集約を効率的に実施でき、労働災害防止効果を向上させることができる。(従来技術との比較における経済性や工程の優劣は、工事受注者が判断する)</p>
			土木積算+安全管理 パッケージ 「ATLUS NEXT S PACK」		
			株式会社 コンピュータシステム 研究所 福岡営業所		

※最新情報はホームページをご確認ください。